

## 果樹 6 月上旬の巡回調査結果の概要について

### 【東北信】 巡回日：6月5、6、7日

#### 1 りんご（東信5ほ場、北信11ほ場）

- (1) 赤星病の発生はみられなかった。
- (2) 黒星病の発生はみられなかった。
- (3) アブラムシ類は、東信地域1ほ場、北信地域8ほ場で寄生がみられた。寄生新梢率は3.3～93.3%であった。
- (4) リンゴハダニは、東信地域1ほ場、北信地域2ほ場で成若幼虫の寄生がみられた。

ナミハダニは、東信地域1ほ場、北信地域1ほ場で成若幼虫の寄生がみられた

リンゴサビダニは、北信地域1ほ場で寄生がみられた。



図1 りんご（新梢）に寄生するアブラムシ類（北信地域）

#### 2 ぶどう（東信3ほ場、北信8ほ場）

- (1) うどんこ病、べと病、灰色かび病、黒とう病の発生はみられなかった。
- (2) チャノキイロアザミウマの被害葉はみられなかった。

#### 3 もも（東信2ほ場、北信5ほ場）

- (1) せん孔細菌病の発病葉は、全てのほ場でみられ、発病葉率は0.2～3.8%であった（図2）。
- (2) モモハモグリガの被害葉はみられなかった。
- (3) ハダニ類の寄生はみられなかった。
- (4) アブラムシ類は、北信地域1ほ場で寄生がみられ、寄生新梢率は6.7%であった。
- (5) カメムシ類の被害果はみられなかった。
- (6) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- (7) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

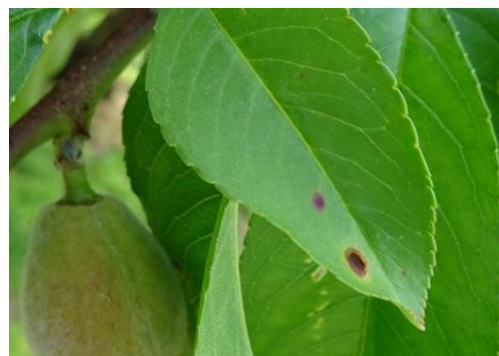


図2 ももせん孔細菌病の発病病（北信地域）

#### 4 うめ（東信1ほ場、北信1ほ場）

- (1) かいよう病の発病果、発病枝はみられなかった。
- (2) 黒星病の発病果はみられなかった。
- (3) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- (4) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

**【中南信】** 巡回日：6月4、5、6、7日

1 りんご（南信5ほ場、中信6ほ場）

- (1) 赤星病の発生はみられなかった。
- (2) 黒星病の発生はみられなかった。
- (3) アブラムシ類は、南信地域1ほ場、中信地域5ほ場で寄生がみられた。新梢寄生率は3.3～66.7%で、優占種はユキヤナギアブラムシ等であった。
- (4) リンゴハダニ、ナミハダニ、リンゴサビダニの寄生はみられなかった。

2 なし（南信9ほ場）

- (1) リンゴハダニ、ナミハダニの寄生はみられなかった。

3 ぶどう（中信5ほ場）

- (1) うどんこ病、べと病、灰色かび病、黒とう病の発生はみられなかった。
- (2) チャノキイロアザミウマの被害葉はみられなかった。

4 もも（南信1ほ場、中信2ほ場）

- (1) せん孔細菌病の発病葉は、中信地域1ほ場でみられ、発病葉率は0.3%であった。
- (2) モモハモグリガの被害葉はみられなかった。
- (3) ハダニ類の寄生はみられなかった。
- (4) アブラムシ類の寄生はみられなかった。
- (5) カメムシ類の被害果はみられなかった。
- (6) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- (7) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

5 かき（南信3ほ場）

- (1) うどんこ病の発生はみられなかった。
- (2) 円星落葉病の発生はみられなかった。
- (3) カキクタアザミウマ、ハマキムシ類、フジコナカイガラムシの被害果はみられなかった。

6 うめ（南信2ほ場）

- (1) かいよう病の発病枝はみられなかった。
- (2) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- (3) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

**【侵入警戒調査（果樹）】**

- (1) りんご、なしの調査ほ場において、火傷病、コドリングアの発生はみられなかった。
- (2) もも、うめの調査ほ場において、ウメ輪紋ウイルスの発生はみられなかった。